【当社における健康経営戦略マップ】

（経済産業省「健康投資管理会計ガイドライン」（R2.6.12）における「健康経営戦略マップ」をベースとして作成）

第68期ver

Plan・Do → Check・Action

健康投資

- 定期健康診断 法定項目及び法定外項目（婦人科、乳腺、PSA検査等）の費用補助
- 二次検査受診勧奨の実施
- 再検査等受診した際の出勤扱いと受診（交通費含）の費用補助
- ストレスチェック（50人未満の事業所も実施）集団分析実施
- 休職者・復職者への各種フォロー
- リシテア（勤怠管理システム）による長時間労働者の管理と牽制
- 有休奨励日の設定
- 法定をこえる休暇制度の導入
- 残業時の食事代補助
- 統括産業医制度
- EAPサービスの導入
- メンタルヘルス研修
- 健康講話、健康セミナーの実施
- 睡眠に関する健康講話の実施
- 禁煙に関する健康講話の実施
- 役職員の健康リテラシーの向上施策（情報発信）
- エンゲイジメント向上のための社外コンサルティングの導入
- 選択的福利厚生サービス（カフェテリアプラン）導入
- 職場でできる運動セミナー（仮）の実施

健康投資による効果

健康投資施策の取組状況に関する主な指標

- 定期健康診断の受診率
- 時間外労働時間数
- 有給休暇の取得率
- 二次検査対象者の受診率
- メンタルヘルス研修参加者数
- 喫煙率
- 禁煙講話の参加者数、視聴者数
- 睡眠講話の参加者数、視聴者数
- 食事セミナー参加率
- 職場でできる運動セミナー研修参加率
- カフェテリアポイント消化率

従業員等の意識変容・行動変容に関する指標

- ワークライフバランスの充実
- 健康な食生活を送る社員の割合の向上
- 早期に医療機関へ繋ぎ重症化を予防
- 運動習慣のある社員の割合の向上
- 睡眠で休養が充分とれている社員の増加
- 喫煙者比率の低下
- メンタルヘルスリテラシーの向上

健康経営の最終的な目標指標

- プレゼンティーイズムの低減
- ワーク・エンゲイジメントの向上
- 総合健康リスクの低減

健康経営で解決したい経営課題

- ・不健康や疾病による生産性低下の防止（休職者の減少や再休職の予防）
- ・人材の定着、離職の防止
- ・企業イメージ向上による応募者増や優秀な人材の活用
- ・社員満足度の向上

健康経営実施の目的 2030年ビジョンとの関係

2030年ビジョンの「主要戦略」

⇩

「健康管理」の実現により「時間：価値ある時間の創出」につなげていく

見直しによる充実！

健康資源

人的健康資源

従業員等の健康状態やヘルスリテラシー等

- 食事セミナー参加率
- 二次検査対象者の受診率の増加
- 時間外労働時間
- 運動セミナーの実施
- 禁煙講話参加者の割合
- 睡眠講話の参加者数、視聴者数の増加
- メンタルヘルス研修参加者数
- 健全な食生活を送る社員の割合
- 医療機関未受診者率の低下
- 運動習慣のある社員の割合
- 睡眠時間
- 喫煙者比率
- 社員満足度
- スコアリングレポート、生活習慣アンケート
- プレゼンティーイズム
- ワーク・エンゲイジメント

環境健康資源

従業員等を取り巻く企業の内部環境

- 休暇制度
- 健診補助費用
- 健康経営に関する理念
- 健康経営に対する経営者・役員のコミットメント
- 組織風土（情熱とやりがい）
- 統括産業医制度
- 社外コンサルティング
- EAP
- 選択的福利厚生サービス（カフェテリアプラン）
- 「ヘルサポ」からの情報発信
- 「ヘルサポ」通信